

“音の熱き戦い”ゴールボールの魅力、“音で全てを表現するプロ”である声優が発信します！

人気声優の下野紘さん・内田真礼さんが
“日本郵政ゴールボールアンバサダー”に就任
日本郵政 ゴールボール応援プロジェクト
2020年11月20日(金)から特設サイトオープン

下野さんと内田さんが演じる

ゴールボール解説動画や、日本代表選手をモデルにしたサウンドドラマを公開

https://www.japanpost.jp/goalball_project/

日本郵政株式会社(以下「日本郵政」)は、視覚障がいの方の競技であり、パラリンピック正式競技に採用されている『ゴールボール』の魅力を発信する「**日本郵政 ゴールボール応援プロジェクト**」を開始し、**声優の下野紘さん・内田真礼さんにアンバサダーに就任頂きました。**オリジナルコンテンツを公開する特設サイト(https://www.japanpost.jp/goalball_project/)を**2020年11月20日(金)**からオープンしております。



【経緯】

日本郵政は、2019年3月に日本ゴールボール協会とのオフィシャルパートナー契約を締結しました。以降、日本ゴールボール協会が運営する大会等に社員ボランティアを派遣するなど、日本ゴールボール協会が行う活動を積極的にサポートしております。

イベントでのゴールボール体験ブースの出展やSNSでの情報発信など、ゴールボールの普及・発展にも努めており、ゴールボールの更なる認知向上と、共生社会への理解促進を目的に、この度、「日本郵政 ゴールボール応援プロジェクト」を発足しました。

視覚情報に頼ることなく、相手の動きやボールの位置を”音“を中心に判断して戦うゴールボールの魅力をも、”音“で表現するプロフェッショナルである声優が発信していきます。

【プロジェクト概要】

アンバサダーには声優の下野紘さん・内田真礼さんを起用し、ゴールボールのルールや魅力を解説する「GOAL BALL 徹底攻略ガイド」に出演いただきました。また、日本代表の宮食行次選手・欠端瑛子選手のエピソードを脚本にしたオリジナルサウンドドラマを制作し、下野さん・内田さんに主人公を演じていただきました。その他、宮食選手・欠端選手とアンバサダーお二人とのスペシャル対談や、メイキングムービーも公開いたします。

さらに、ゴールボール選手やゴールボール日本代表への応援メッセージをはがきで送るキャンペーンを実施します。選ばれたメッセージを下野さん・内田さんが読みあげて”声援”の形で選手へお届けし、選手の皆さんの挑戦を後押しする企画です。

【コンテンツ紹介】

■GOAL BALL 徹底攻略ガイド

あまり知られていないゴールボールの基本的なルールや魅力を、アンバサダーの下野さん・内田さんが楽しく解説。ゴールボールは実はこんなに面白くて魅力がたくさんある競技、ということをも”声”を通してお伝えします。



■オリジナルサウンドドラマ

・明日へのゴール —背中を押してくれた言葉—

(主人公のモデル: 宮食行次選手、主人公の CV: 下野紘さん)

ゴールボール男子日本代表の宮食行次選手をモデルにした、完全オリジナルストーリーのサウンドドラマを制作しました。主人公のコウジを下野紘さんが演じます。ゴールボールの実際の試合の音も使い、試合の臨場感を音で楽しむことができる内容です。



◆ストーリー概要

病気の進行により、大好きなスポーツができなくなった主人公コウジは、将来への不安を感じながらも、自分の障がいをなかなか周りに伝えることができず、苦悩する日々を送ります。

とあるきっかけでゴールボールを知り、その魅力をコーチから教わったコウジは、「視力が失われてもできることはある」と再び前を向き、ゴールボールと共に人生を歩む決意をします。

・言葉の魔法 —もう無理って言わない—

(主人公のモデル: 欠端瑛子選手、主人公の CV: 内田真礼さん)

ゴールボール女子日本代表の欠端瑛子選手をモデルにした、完全オリジナルストーリーのサウンドドラマを制作しました。主人公のエイコを内田真礼さんが演じます。ゴールボールの実際の試合の音も使い、試合の臨場感を音で楽しむことができる内容です。



◆ストーリー概要

生まれつきの弱視でスポーツが苦手だった主人公エイコ。友人の勧めでゴールボールを始めたエイコは、「目の見え方に依らず、誰もが同じ条件で戦える」ゴールボールに熱中します。

ゴールボールを通じて挑戦する勇気と大切な仲間を手にしたエイコは、世界大会の大事な一戦で「回転投げ」という新しい武器に挑戦します。

■「ゴールボール日本代表選手」と「声優」との、“音”をめぐるスペシャル対談

——サウンドドラマを演じられていかがでしたか？

下野さん: 主人公が病気の進行をきっかけに、少しずつ臆病になったり、消極的になったりしてしまう瞬間が描かれていたのですが、これって、「目の見え方とか障がいに関係なく、誰にでも有り得ること」だよなと思いました。だからこそ怖がらずに、新しいことに挑戦してみるのが、大事なんだろうなって、僕自身演じながら感じていました。

内田さん: 台本に、「無理、絶対無理」って言葉がたくさん出てきたのですが、そうってしまう気持ちもとても分かるなと思いました。そんな中でも、主人公のエイコが友達やコーチなど周りの人たちに励まされて困難に立ち向かっていく強さに、とても感動しました。



■メイキング動画 下野さん・内田さんがゴールボールを体験する場面も(メイキング動画は11月24日(火)12時に公開)

——アイシェードを着けて、ボールをキャッチしてもらいました。

下野さん:うわあ～、むずかしい！距離感が全く分からない！これはすごい音に集中しますね。

内田さん:どこだどこだ！？あ、ボールの音が！！これは感覚をすっごく鍛えられますね！



——応援メッセージをはがきに書いていただきました。

下野さん:声優も同じ”音”を扱う仕事ですので、”音”という点で繋がりがあるということで、ゴールボール日本代表の皆さんにも、ぜひ頑張っていたきたいなど、そういう想いでこのはがきのメッセージを書きました。普段はあまりデコレーションしないのですが、今回は旗の絵も描いてみました！

内田さん:今回のプロジェクトのアンバサダーとして、ゴールボールの魅力をしっかり伝えていけるように、はがきにしました。私がいつも描いている「まあやちゃん」というキャラを、今回の応援メッセージでも、描いてみました。



■「選手への応援メッセージをはがきで送ろう！」キャンペーンについて

ゴールボール選手やゴールボール日本代表に向けた応援メッセージをはがきで募集します。集まったメッセージの一部を下野紘さん・内田真礼さんに読みあげていただき、“声”の形でも選手のみなさんへお届けします。ご応募いただいた方から抽せんで、下野紘さんと内田真礼さんがお名前とお礼のメッセージを読んでもくれる“ボイス付きポストカード”や、“特製サイン入り色紙”をプレゼントいたします。

さらに、プレゼントの抽せんで、日本郵政の Instagram アカウント(@japanposthd_official)をフォローし、ご自身の Instagram のアカウント名(ユーザーネーム)をはがきの宛名面に明記していただくと、当せん確率がアップします。

キャンペーン名:選手への応援メッセージをはがきで送ろう!

応募期間 :2020年11月20日(金)~2021年4月30日(金)※当日消印有効

宛先 :〒100-8791 東京都千代田区大手町2-3-1 日本郵政株式会社内
「ゴールボール応援プロジェクト」事務局 宛

【プロジェクトを通じた想い】

以上のコンテンツを通して、郵便や手紙の原点である『想いを伝える』というテーマを軸に、選手のエピソードや競技の特性など、ゴールボールの知られざる魅力を、たくさんの方々にお届けしたいと考えております。

日本郵政グループはこれまでも、点字郵便やくぼみ入りはがき、点字入りキャッシュカードなど、視覚障がいの方にもご利用いただきやすいようなサービスの提供に努めてきました。これからも、このような取組を通じて、触れ合いあふれる豊かな暮らしの実現に貢献してまいります。

【出演者プロフィール】

・下野 紘 (しもの ひろ)



4月21日生まれ 東京都出身

主な出演は、「うたの☆プリンスさまっ♪シリーズ」来栖翔役、「進撃の巨人シリーズ」コニー・スプリンガー役、「鬼滅の刃」我妻善逸役などであり、数多くの人気キャラクターを演じてきた。

声優活動の他、歌手、番組MC、ナレーションを務めるなど幅広く活動中。2021年にデビュー20周年を迎える。

・内田 真礼 (うちだ まあや)



12月27日生まれ 東京都出身

主な出演は、「中二病でも恋がしたい!」小鳥遊六花役、「ご注文はうさぎですか?」シャロ(桐間紗路)役、「約束のネバーランド」ノーマン役など。

Web ラジオでのパーソナリティや番組 MC も務める。また、2019年元旦には日本武道館でワンマンライブを開催するなど、歌手としても活躍中。

・宮食 行次 (みやじき こうじ)



ゴールボール男子日本代表。1995年生まれ、大阪府出身。小学校、中学校では野球部、高校ではソフトボール部に所属。

2017年に、日本ゴールボール協会が主催した人材発掘プロジェクトで、ゴールボールに出会う。22歳から本格的にゴールボールを始め、競技歴2年で日本代表入りしたゴールボール界期待の選手。

・欠端 瑛子 (かけはた えいこ)



ゴールボール女子日本代表。1993年生まれ、神奈川県出身。

高校2年のときに、友人に誘われてゴールボールを始め、大学在学中に出場した2012年ロンドンパラリンピックでは金メダルを獲得。(パラリンピック団体競技では日本代表初の金メダル)

2016年リオデジャネイロパラリンピックにも出場し、第5位。女子では数少ない「回転投げ」を武器とする、日本代表の攻撃の柱。